

<< テーブルオフィシャル'sマニュアル >>

2019. 4. 修正版

※ゲームの開始と終了時に立ち上がってあいさつする必要はありません。

●スコアラー

1. 試合開始3分前までに、コーチのサインをもらいます。
2. 1分前のブザーが鳴ったら、メンバー登録を受け付けます。
3. スコアシート記入法にしたがってスコアシートに記入します。
4. 次のことをブザーを1回(2秒間)鳴らして立ち上がり、大きな声とスコアラーの合図で審判に知らせます。

これは、スコアラーの役割なので、他の人に協力してもらいながらおぼえましょう

①個人の5回目のファウル

②チームの4回目のファウル

★プレーが始まってしまったらブザーを鳴らさず、次にプレーが止まった時ブザーを鳴らして審判に知らせる

③タイムアウト
(両手でTの形を示します。片手は1本指で。)

④タイムアウトの時の選手交代(胸の前で両腕を交差させます。)

★知らせるときの言葉は「メンバーチェンジ」ではなく「交代」です。

5. スローインの方向(チーム)を示す矢印(オルタネイティング・ポゼッション・アロー)をあつかいます。
 - ・試合開始時はジャンプボールのあと、最初にコート内でボールをコントロールしたチームの相手チームがこうげきする方向に矢印をしめします。
 - ・ポゼッション・アローの向きは、オルタネイティング・ポゼッション・ルールによるスローインが終わったときに、すみやかに変えます。

①スローインされたボールがコート内のプレーヤーに触れたとき

②スローインをするチームにヴァイオレーションがあったとき

③スローインされたボールがリングとバックボードの間にはさまったり、のたままになったとき

これは、アシスタントスコアラーが代わりに行ってかまいません

6. タイムアウトについて
各クォーターと延長時限に1回ずつ、45秒間のタイムアウトをとることができます。次のとき、タイムアウトがみとめられます。

①審判が笛を吹いてゲームクロックが止まったとき

②相手チームがフィールド・ゴールで得点したとき

③最後のフリースローが成功したとき

★スローイン、フリースローのボールが審判からプレーヤーに渡されたときやフィールド・ゴール後、エンドラインでプレーヤーが持ったときは認められません。

7. 交代について
第4クォーターと延長時限ではどちらのチームも交代ができます。次のとき、交代がみとめられます。

①タイムアウトがあったとき

②審判が笛を吹いてゲームクロックが止まったとき

③ファウルの後は審判がテーブルオフィシャルに伝達を終えたとき

④最後のフリースローが成功したとき

★スローイン、フリースローのボールが審判からプレーヤーに渡されたときは認められません。

6. 注意点

①個人ファウルとチームファウルの数をアシスタントスコアラーに知らせます。

②ファウルとタイムアウトや交代がしょの場合、審判がファウルを伝え終わってからタイムアウトや交代の合図をします。

③個人ファウルが5回目、チームファウルが4回目の時は、先に5ファウルを知らせます。

★ハーフタイムでスコアチェックが終了したら、矢印の方向を変えることを審判に告げた後に変えます。

その他

★スコアシートの記入法、試合終了後の処理の仕方などは別紙「スコアシート記入法」をよく読んで正確におぼえてください。